

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



第44回子ども芸術祭。日ごろの練習の成果を披露する「子どもステージ」があったほか、「子ども美術展」では絵画や書の作品を展示（8月22日・23日、市民会館）



高齢者がまちに出る手助けになればと、西田町の藪根隆美さんから竹製のつえ150本を寄贈いただきました。これまでに2,360本を寄贈されています（8月19日、西脇市役所）



西脇市社会福祉協議会と「災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定」の調印式を行いました（8月11日、生涯学習まちづくりセンター）



西脇・比延・芳田地区のコミセン等で市長が市民の皆さんと意見交換を行う「まちかどミーティング」を実施（10月には日野・津万・重春・野村・黒田庄地区で予定）

播州織の衣装を専門家に披露

〔8月27日 西脇高校〕



ファッションデザイナー海外達也さんらに播州織の衣装を披露しアドバイスを受ける生徒たち

高校生が自分自身や地域に誇りを持つことを目的に「ふれあい体験ひろば in 西脇」が、今回初めて館外で開催されました（兵庫県立こどもの館主催）。西脇高校生活情報科の生徒25人が、服飾関係の専門家6人に播州織で製作したドレスやワンピースなどを披露し、仕事の楽しさや厳しさを学びました。

第10回へその西脇・織物まつり

〔8月29日・30日 日本へそ公園・総合市民センター・市民会館ほか〕



ダンスイベント「加杉野おどり」で大賞を受賞した風火雷霆

2日間にわたって「へその西脇・織物まつり」が開催されました。あいにくの天候でしたが、多くの人が会場を訪れ、ダンスイベント「加杉野おどり」や播州織ファッションショー、へそにちなんだベリーダンスなどを楽しみました。また、2日間で計3,000発の花火が夏の夜空を彩りました。

日野保育園児らが長寿をお祝い

〔9月1日 市内各所〕



日野保育園児らが「いつまでも元気でいてね」と歌などをプレゼント／楽寿園

敬老の日を前に、市長や市議会議員、社会福祉協議会会長らが、市内にお住まいの100歳以上の長寿者28人のうち14人を訪問し、花束や記念品を贈りました。特別養護老人ホーム「楽寿園」では、日野保育園の園児6人が、歌と手作りのメダルなどをプレゼントしました。



31年間の歴史に幕を下ろした生活文化総合センター内の西脇市図書館

西脇市図書館で「ありがとう図書館まつり」が開催され、およそ1,000人が訪れて別れを惜しみました。生活文化総合センター内の図書館は昭和59年4月に開館し、31年間あまりにわたって市民の皆さんに愛されてきました。10月18日にオープンする茜が丘複合施設「Mirai」内への移転作業のため8月31日で閉館しました。イベント当日は「本のリサイクル市」「絵本の読み聞かせ」「ブックカバー体験」「ミニ縁日」「ありがとうセレモニー」などが行われました。セレモニーではボランティアとして図書館に貢献された方々に感謝状が贈られたほか、市民を代表して重春小学校3年生の上角明日香さんが「大好きな場所がなくなるのは寂しいけど、新しい図書館でたくさんの本と出会いたい」とメッセージを読み上げました。



甲子園で活躍した吉田凌さん（8/31）



世界でも活躍する藤原崇太郎さん（8/21）

芳田小学校出身で東京都の日体荏原高等学校2年生の藤原崇太郎さんに西脇市スポーツ賞を贈呈しました。藤原さんは8月10日に行われた全国高校総体・柔道男子81kg級で優勝。中学時代には全国大会個人の部で2連覇を果たし、高校入学後もアジア大会2位をはじめ、17歳以下の全国大会で2連覇をするなど活躍されています。西脇東中学校出身で神奈川県東海大学付属相模高等学校3年生の吉田凌さんにも同賞を贈呈しました。吉田さんは8月6日から行われた第97回全国高等学校野球選手権大会で、昨年に続いて投手として甲子園のマウンドに立ちました。昨年の初戦敗退の悔しさを胸に日本一を目標として努力を重ねた今年、右のエースとしてチームを45年ぶりの優勝へと導きました。二人の今後のご活躍にふるさとからエールを送りましょう。

31年間の歴史に幕—ありがとう図書館まつり

〔8月29日 生活文化総合センター〕

高校生2人に西脇市スポーツ賞を贈呈

〔8月21日・31日 西脇市役所〕

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！